

杉並区立学校教育情報化基本方針

日々、飛躍的に進展するデジタル技術は、私たちの日常に深く浸透し、これまでの生活様式のあり方や働き方に大きな変化をもたらしています。人工知能（AI）、ビッグデータ、IoT（Internet of Things）等の先端技術の急激な発展に伴い、社会の在り方そのものが劇的に変わる「Society5.0」と言われる時代の到来が予想されています。このような時代において、次代を切り拓く子どもたちには、情報活用能力をはじめ、言語能力や「問題発見・解決能力」(数学的思考力、創造力やコミュニケーション能力)など、これからの時代を生きていくうえで基盤となる資質・能力を身に付けることが必要とされており、学校教育もこうした新たな時代を生き抜く力を育む新たな学習スタイル・授業観を創造することが必要です。

そのような時代の中で国は、令和元（2019）年にGIGA(Global and Innovation Gateway for All) スクール構想を掲げ、子どもたちが1人1台のPC端末を活用しながら、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す学びの実現を目指しました。区では、このGIGAスクール構想のもと、令和2（2020）年度に児童・生徒への1人1台端末及び新たな通信ネットワーク環境の一体的な整備を行いました。その後も、国から「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実することの重要性が示され、さらに学校教育の基盤的なツールとして、ICTや先端技術が必要不可欠なものとしてされています。

杉並区では、令和4（2022）年度に「杉並区教育ビジョン2022」を策定し、令和6（2024）年度にはその改定を行い、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の実現に向けた各種取組を行っています。その取組の一環として、時代の変化の中において時機を逸することなく、学校現場のデジタル化を戦略的に加速させるため、「杉並区立学校教育情報化基本方針」を定めて取り組みます。

学びのDX

ICTを活用した教育の推進

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

(令和の日本型学校教育の構築)

学習者用デジタル教科書や学習コンテンツ等、1人1台専用タブレット端末を効果的に活用した学びを推進するとともに、それらの学習ログを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指します。

教員向け研修など学校向け支援の充実

各校の要請に応じた訪問型要請研修や研修サイトの充実、集合型のICT活用研修の実施や教育課題研究指定校の実践の共有等、ICTに関して学ぶ機会を確保することで、教職員のICT活用力を高めます。また、情報モラル教育の充実を図り、児童・生徒の情報活用能力を養います。

etc

校務のDX

働き方改革の推進

学校ネットワークシステムの再構築

現在の学校ネットワークシステムの再構築を行い、校務系システム(成績情報等)と学習系システム(補助教材等)との接続を円滑にするるとともに、校務用端末と教員用端末を1台の端末へ統合することによって利便性を高め、業務効率化を令和7（2025）年度に実施します。

学校庶務事務システムの導入

現在紙ベースで処理されている教職員の勤怠管理業務をデジタル化し、処理を効率化することにより負担の軽減を図るとともに、教職員の勤務状況の的確な把握を行うため、庶務事務システム(勤怠管理)を令和7（2025）年度に導入します。

etc

個別・情報のDX

個人・家庭とのつながりの推進

電子情報発信の強化

学校や教育委員会からのお知らせやプリント等の配布物の電子化等の取り組みを通じて、学校と家庭間での情報発信の効率化を令和6（2024）年度に実施します。

会議・連絡手段のオンライン化

保護者会や説明会などをオンライン開催する、欠席等の連絡や保護者アンケートをオンラインで実施する等の取り組みの強化を通じて学校と家庭のつながりを作ることで、学校と家庭双方の利便性が向上します。そのような情報共有の効率化を継続して実施します。

etc

児童・生徒1人1台専用タブレット端末及びネットワーク環境等インフラ環境の整備、新たな教育環境に適したセキュリティ対策の強化

デジタル戦略アドバイザー(区専門非常勤)の協力のもと、現在の杉並区立学校内のネットワーク環境の通信速度やネットワーク機器への負荷状況を分析し、今後予想される学習者用デジタル教材の大容量化へ向け、通信の高速・最適化へ向け取り組めます。併せて校務系システムと学習系システムのネットワークを統合し、効率的で効果的な校務支援を行うことを目指します。

さらに、子どもたちのタブレット端末の利用状況や導入ソフトウェアから端末の利用状況を分析し、学習向け端末として最適な性能を持った端末選定を行います。

また、GIGAスクール構想をはじめとした急速な学校教育のICT化により、大きく変化した教育現場で必要となる新たなセキュリティ対策を実施するとともに、ICTを活用する上でのルールやマナー、情報セキュリティの重要性を各学校で児童・生徒が主体的に考える形にすることで、ICT活用のスキルや情報モラルを高めていきます。